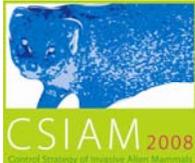


# 国際シンポジウム 侵略的外来哺乳類の防除戦略 ～生物多様性の保全をめざして～

Control Strategy of Invasive Alien Mammals 2008 (CSIAM 2008)

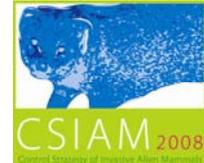
~Building on Success, Learning from Failures; 100 Ways to Beat Invasive Mammals~



<http://reg.let.hokudai.ac.jp/csiam2008.html>

2008年10月27日（月）～31日（金）

会場：沖縄産業支援センター



主催：Control Strategy of Invasive Alien Mammals 2008 実行委員会

共催：環境省，沖縄県

後援：日本生態学会，日本鳥学会，日本哺乳類学会，日本野生動物医学会，日本霊長類学会，野生生物保護学会，沖縄県獣医師会，



ISSG (The World Conservation Union / Species Survival Commission / Invasive Species Specialist Group)，東村，大宜味村，国頭村

協賛：八千代エンジニアリング（株），（資）大進商会，（株）南西環境研究所，

フジブラニング（株），サージミヤワキ（株）

助成：琉球大学後援財団



助成：独立行政法人日本万国博覧会記念機構



助成：大和日英基金

## 大会委員長からのご挨拶

外来生物は生物多様性の急速な減少をもたらしている主要因の1つです。とくに外来哺乳類は影響が深刻で、日本を含む世界各地で多くの在来生物種の存続を脅かしています。世界中でさまざまな取り組みが進められていますが、外来哺乳類の効果的な駆除や管理はきわめて難しく、成功例はまだ限られているのが現状です。一方で、問題を抱える地域は増加の一途をたどっており、これまでの経験について情報交換や議論を行い、今後の課題を明確化することが、いま非常に重要です。

今回の国際シンポジウムは、定着してしまった外来哺乳類の駆除・管理の具体例について学び、議論することに重点を置いています。外来哺乳類問題に携わる現場や行政の担当者、研究者、市民にとって、世界最前線の知識や経験、考え方に触れ、さまざまな国や分野の人たちとの関係を作り、得たものを今後の自らの仕事に生かせる貴重な機会となることを願っています。

(CSIAM2008 実行委員会 会長 石井信夫)

### 1. 会期 2008年 10月27日（月）～31日（金）

10月27日（月）受付，ウェルカムパーティー

10月28日（火）全体会議（一般公開），ポスターセッション

10月29日（水）分科会，ポスターセッション，懇親会

10月30日（木）分科会，ポスターセッション

10月31日（金）エクスカージョン

### 2. 会場 沖縄産業支援センター（全てのプログラム）

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1 TEL：098-859-6234 (<http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/>)

### 3. 会議概要

CSIAM2008 は、島国という共通点を持つ日本・イギリス・ニュージーランド3カ国の研究者による外来生物の研究・対策に関する協働作業の中で企画されました。シンポジウムでは、この3カ国に限らず世界各国の外来哺乳類対策に関する知識と経験を集約し、今後の有効な具体的対策を整理することと、国際的な研究者ネットワークを構築することを目的としています。

シンポジウムは、全体会議、分科会（いずれも同時通訳付き）および一般講演（ポスターセッション）で構成されます。

全体会議（28日）は、午前の部において基調講演として海外の外来種対策主要事例及び日本の現状を紹介し、午後の部は種別会議とし、代表的な外来哺乳類としてマングース・ノネコ・ネズミ・ノヤギ・ノブタに焦点を当てた各論議

演を予定しています。全体会議は一般公開となっております。

分科会(29, 30日)はワークショップ形式で、外来哺乳類対策に関する包括的大テーマと具体的小テーマをそれぞれ5題ずつ、計10題設定し、各々のテーマについて成功と失敗のポイントをそれぞれ5ポイント、計10ポイントにまとめます。最終的にこれらを集約して、外来哺乳類に対抗する100のポイントとし、これを本シンポジウムの成果とします。

一般講演(ポスターセッション, 28~30日)では、外来哺乳類に関連する演題を広く募集しますので、ふるってご応募下さい。

外来生物対策では、成功例ばかりでなく、非常に多くの教訓が含まれている失敗例も重要です。本シンポジウムでは、各国の対策実態を忌憚なく話し合い、真に効果的な対策ポイントをまとめあげ、我が国のみならず世界的な外来生物対策の構築にも貢献することを目指します。

#### 4. プログラム

10月27日(月) 受付, ウェルカムパーティー

**Registration (受付) 15:00~**

**Welcome Party (ウェルカムパーティー) 18:00~20:00**

10月28日(火) 全体会議 (Plenary Session) 同時通訳付き (一般公開・無料)

**開場 9:10 開会 9:30**

**Keynote Speech (基調講演) 9:50~11:50**

**Public Lecture (種別会議) 13:20~16:30**

**Mongoose session (マングース防除) 17:00~20:00**

10月29日(水) 分科会 (Unit Session) 5 Big Pictures 同時通訳付き

**Unit Session (分科会) 9:00~17:00 (各60分×5セッション+総括)**

**1. Legislation and Policy (法制度と管理方針)**

**2. Prioritization and Risk Assessment (優先順位およびリスク評価)**

**3. Risk Management Systems and Precautionary Principles (リスク管理システムと予防原則)**

**4. Research and Adaptive Management (調査研究および順応的管理)**

**5. Public Awareness and Engagement (普及・啓発)**

**Summing up points (総括)**

**Banquet (懇親会) 18:00~20:00**

10月30日(木) 分科会 (Unit Session) 5 Small Pictures 同時通訳付き

**Unit Session (分科会) 9:00~18:00 (各60分×5セッション+総括)**

**1. Logistics and Planning (管理戦略および管理計画)**

**2. Control Technique I (Trapping, Poisoning and Fencing) (コントロール手法I (罠, 毒物およびフェンス))**

**3. Control Technique II (Other Methods) (コントロール手法II (その他の手法))**

**4. Population Monitoring (個体群モニタリング)**

**5. Indirect Effects and Ecosystem Approach (間接効果と生態系アプローチ)**

**Summing up points (総括)**

**Round up session (全体のまとめ)**

10月28日(火) ~30日(木) ポスターセッション (Concurrent Poster Session)

**Concurrent Poster Session (ポスターセッション) 9:00~18:00**

コアタイムは29日と30日の13:00~14:00

10月31日(金) エクスカーション (Optional Excursion)

**Optional Excursion (エクスカーション) 7:30~18:00**

「やんばる地域におけるマングース対策の現状」

北上防止柵, 林内のワナ設置状況, ヤンバルクイナ保護シェルター, やんばる野生生物保護センター見学